# 安倍９条改憲ＮＯ！
# 改憲発議に反対する全国署名

署名用紙

## ご協力をお願いします

全日本民医連も実行委員会に入っている全国市民アクションが呼びかけた「安倍9条改憲ＮＯ！改憲発議に反対する全国緊急署名」のとりくみが開始されています。今回の署名は、安倍改憲に反対する多様な市民が力を合わせて、「改憲発議」をとめるための、文字通り「緊急」の全国署名です。これを持って、地域で、職場で、居住地で、この時期の署名の意義を訴え、すでに「３０００万署名」を書いてくれた人々をふくめ、改めて署名をお願いし、対話を広げ、改憲反対の世論を起こしましょう。

私たちはこの2年間、「安倍9条改憲ＮＯ！全国統一３０００万署名」にとりくんできました。

この署名運動を通じて、「安倍改憲反対」「９条を守れ」の声と、市民と立憲野党の共同の運動の広がりの中で、世論を大きく動かし、憲法審査会での自民党改憲案などの審査を実質的にくい止め、安倍9条改憲の発議を阻止し続け、昨年夏の参議院選挙で、改憲勢力3分の2割れを勝ち取った原動力になりました。

しかし、安倍首相は、参院選で改憲勢力が発議可能な3分の2の議席を失ったにもかかわらず、通常国会の所信表明演説でも改憲への決意を表明し、自らの自民党総裁任期の２０２１年９月までに何とか改憲を実現すべく、改憲案の国会発議をねらっており、憲法改悪への強い意志を機会あるごとに表明しています。

「桜を見る会」問題にみられる行政の私物化、東京検察庁検事長の違法な定年延長問題、2人の現職大臣の公選法違反行為疑惑による辞任、ＩＲ疑獄問題や森友改ざん問題などの露呈。これらよって内閣支持率が低下し、支持を不支持が上回る事態となっています。さらに、新型コロナウイルス問題への政府の対応で、全国の人々の批判はさらに大きくなりつつあります。

私たちは、新署名を開始するにあたって、安倍改憲をめぐるたたかいがいよいよ最大の山場にさしかかっており、かつ今通常国会と臨時国会で「改憲発議」を許すかどうか、さらに２０２１年通常国会会期中に安倍改憲国民投票を許すかどうかの正念場にさしかかっています。私たちは安倍改憲と「戦争する国」の企てをストップさせ、民医連綱領にもある憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させましょう。

## 理事会報告

### 3月理事会〈概要〉

開催日時
２０２０年３月２６日（木）
午後６時～７時５０分
出席：理事23名、監事3名

〈主な内容〉

◆報告
・拡大常任理事会、各種委員会概要
・健康友の会みみはら、社保・平和・まちづくりのとりくみ報告
・無料低額診療の各事業所実績及この間の取り組み
・2月度の経営結果、協同基金の取り組み

◆協議確認事項
【新型コロナウイルス感染症対応について】
新型コロナウイルス感染症対応の状況と行政への要請及び総合病院での対応について報告を行った。

【幹部人事について】
4月1日付で田端理事長代行を理事長に選出、斉藤理事長を副理事長に選出すること、河原林正敏副理事長を病院長代行に選任することを承認した。

## みみはら十人十色

シリーズ
みみはらの人 ⑧

### 透析などの医療機器の操作・点検などをしています

兵庫県加古川市出身、2008年就職、主任技師

**西村 麻美さん**
耳原総合病院 臨床工学科

シリーズ8回目は総合病院臨床工学科の西村麻美さんです。２００８年に同仁会に就職され、現在は主任技師として活躍されています。

**――臨床工学技士とはどんな職種ですか？**

病院内の医療機器の操作、保守点検、管理を行う仕事です。

**――臨床工学技士になろうとしたきっかけは？**

資格を取りたくて、いろいろ調べていたら偶然に臨床工学技士という職種をみつけて、とても興味がわいたためです。

**――同仁会に就職しようと決めた理由は？**

この職種は、透析にかかわることが多いのですが、同仁会では多様な業務ができることに魅力を感じたためです。

**――どんな仕事をしていますか？（いまの主な担当は？）**

医療機器管理やペースメーカーの管理、透析センターでの業務などです。

**――この仕事をしていて「よかったと感じること」や「やりがい」は？**

機械のトラブルが解決し、「よかったー」と安心した顔が見られることや、治療した患者さんが元気になっている姿がみられることです。

**――大切にしていること、ものは？**

時間を段取りよく使うことです。

**――「座右の銘」があれば教えてください**

なんとかなる！

**――休日の過ごし方は？**

小さい子どもがいるので、バタバタしています。1人のときは、ゆっくり買い物したりしています。

**――ストレス発散方法は何ですか？**

とにかくよく寝ることです。疲れを感じている時は、家事は二の次です。

**――自分にとって「みみはら」とは？**

人とつながりあえる温かい職場です。

**――友の会や患者、利用者さんへの期待や伝えたい思いは？**

直接お会いすることは、なかなかありませんが、機械の保守・点検で病院内をまわっていますので、何か疑問があれば気軽に声をかけてくださいね。

臨床工学技士は医療機器の専門医療職で、医師・看護師など、医療技術者とチームを組んで医療機器の操作・保守・点検などを担当する職種です。患者さんと会話する機会は、あまりありませんが、現代の医療には欠かすことができない存在で、同仁会でも耳原総合病院を中心に、多くの臨床工学技士が働いています。